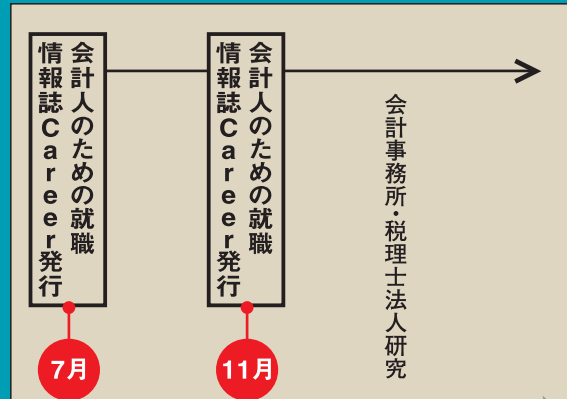


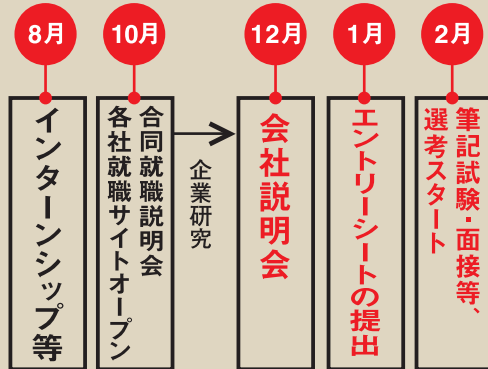
>>>就職活動スケジュール



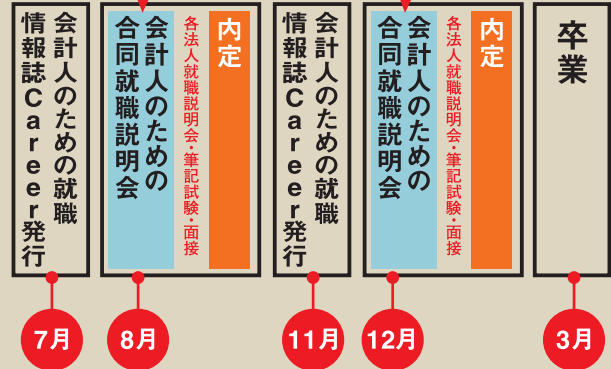
税理士業界の就職活動の流れ



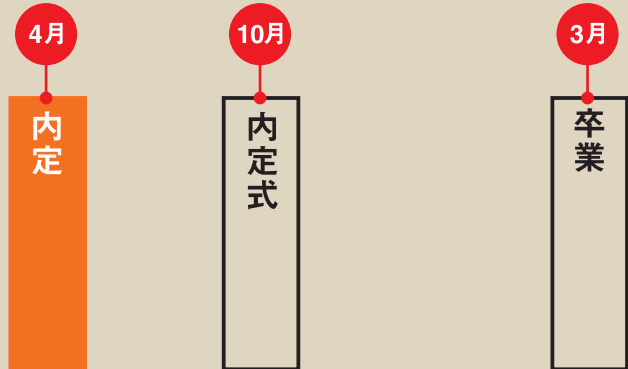
大学3年生



Chance1



大学4年生

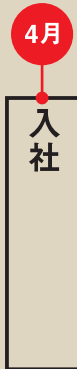


Chance2

Chance3



卒業後



Point

税理士業界では、税理士試験直後と合格発表直後に採用活動を行う。TACではこのタイミングで就職イベントを実施。5科目合格よりも1～2科目合格を応募の条件としている税理士法人や会計事務所が多い。この業界では大学を卒業しても3年程度は新卒と比較して不利にはならない。在学中に内定すると卒業後に、卒業後に内定するとすぐに入社となる。

Point

一般企業でも税理士試験の科目合格（特に簿記論や財務諸表論）は評価が高い。税理士試験の合格発表は12月中旬のため、大学3年時の試験結果は就職活動に間に合うタイミングだ。試験結果の発表前でも「今年の税理士試験を受験し、結果を待っている」ことをアピールし、離職試験に計画的にチャレンジしていることを伝えよう。

採用プロセス

ステップ1:履歴書送付

税理士業界では、市販の履歴書を使用することが多い。志望動機や自己PRをしっかりと記入した自己経歴書を別紙で準備するとさらに効果的。

ステップ2:筆記試験

大手税理士法人などでは、SPIなどの適性試験を行うこともある。

ステップ3:面接（1回～2回）

税理士業界では、特に重視される。回数は2回前後。ある大手税理士法人では、グループディスカッション→マネジャー2人との面接→パートナーとの面接と3つのステップがある。

【よくきかれる質問】

- ▶ 税理士を目指した理由 ▶ 自己PR ▶ 志望動機 ▶ 入社後に担当したい業務
- ▶ 目指している税理士像 ▶ 資格試験の合格状況 ▶ 応募先に対する質問

採用プロセス

ステップ1:エントリーシート・履歴書送付

企業オリジナルのエントリーシートを提出する場合や履歴書のみを送付する場合など、企業ごとに異なる。自己分析や企業研究ができていないかを判断する資料となるので、早めの準備が必要。

ステップ2:筆記試験・適性試験

SPIなどの適性試験を行うところが多い。テストセンターやWebでテストを行う場合もあり、企業ごとに様々。

ステップ3:グループ面接・グループディスカッション

2～4名のグループで面接や、特定のテーマでディスカッションを行う企業がある。

ステップ4:個別面接（1～3回）

人事担当者との面接・役員面接・社長面接が行われる。

【よくきかれる質問】

- ▶ 志望動機 ▶ 自己PR ▶ 学生時代にがんばったこと ▶ 学生時代に専攻していたテーマ
- ▶ 志望している業種・職種 ▶ 応募企業に対する質問

一般企業の就職活動の流れ